

| 製品名  | 高等部 作業製品   |   |
|--|--|---|
|  <p data-bbox="255 201 582 280">レザーのキーホルダ</p>  <p data-bbox="263 929 678 1019">ナチュラルウッドテーブル</p> |  <p data-bbox="710 201 1037 280">いこ<sup>せいけい</sup> 鑄込み成形の製品</p> <p data-bbox="702 526 1061 604">タンブラーとマグカップ</p>  <p data-bbox="1133 201 1468 280">たたら<sup>せいけい</sup> 成形の製品</p> <p data-bbox="1101 526 1500 604">タンブラーとマグカップ</p> |  <p data-bbox="997 616 1189 683">小物入れ</p> <p data-bbox="1109 750 1404 817">カフェエプロン</p> |
| 学校名  | 大笹生支援学校  |   |
| 学部・作業班   | 高等部 レザー班、陶芸班、木工班、手工芸班  |   |

<製品について>

<レザー班>

私たちは動物たちから頂いた大切な革を材料にしています。革製品を作るときに、このことを大切に考え無駄なく大事に使うことを心がけています。しかし、染色や刻印の練習をしたり、慎重に作っていても失敗してしまったりします。「失敗したものにも再利用の道はある」そう考えこの製品の開発をしました。このキーホルダは、積革（つみかわ）という同じ形の革を何枚も貼り合わせる技法でできています。コバが滑らかに一体化するように何度もトコノールをかけて丁寧に磨くことで、ツヤツヤに仕上がりました。

<陶芸班>

陶芸班では、どろどろにした粘土を型に流し込み形を成形する「<sup>いこ</sup>鑄込み成形」と、薄くのばした粘土を切り取って形を成形する「たたら成形」の技術で、製品づくりに取り組んでいます。1色の釉薬で色を付ける方法と複数の釉薬で色を付ける方法など、製品の色付けにも工夫をしています。「お客様が使いやすいものを」とお客様の笑顔を考えながら、一つ一つ丁寧に作っています。

<手工芸班>

手工芸班では「スウェーデン刺しゅう」を中心に制作活動に取り組んでいます。先端がカーブしているスウェーデン針を用い、布目を数えながら布をすくって刺すのが特徴です。様々なデザインの図案を参考にし、自分の好きな色の糸を組み合わせ、オリジナルの製品を作ることができました。

<木工班>

木工班では、お客様に満足してもらえる製品を作れるように丁寧に製品づくりに取り組んでいます。「ナチュラルウッドテーブル」は、「木」本来の良さである木目や質感を最大限に生かしたテーブルです。木の質感を出すために、やすりがけを丁寧に行い、ニスで木目が際立つように仕上げました。

